

域学共創プロジェクトE

本プロジェクトは域学共創プロジェクト「心食体地」を引き継いだもので、学部横断のプロジェクト学習、地域連携活動の一環として教員の指導の下、各学部の授業と連携して行われるものです。本プロジェクトは心食体地としてSDGsの理念から～自然に触れながら私たちが未来のためにできることを考える～プロジェクトを実施します。具体的には子ども園の計画・設計・建設・運営を企画調査し、令和6年に東金市に開園する「東金国際こども園」に対して提案・実践活動を行うことや、多学部の学生が協力し複数年度の継続的プロジェクトとして取り組みます。施設や保育・保健プログラム、園児募集アイデアを提案し、園庭建設、園児・保護者向けの国際交流、保健相談、自然体験等の各種プログラムの企画・実践を行います。

担当教員 看護学部 鈴木明子
福祉総合学部 川瀬力也 倉田 新



【授業計画】

- 東金市のひまわり保育園や東金国際こども園の環境整備を行い子どもたちにとって最善の環境について考え実践する。（食育・食農・環境整備・企画運営）
- 城西国際大学付設ビオトープの管理運営。
- 山梨県立八ヶ岳少年自然の家に宿泊し、自給自足の生活を行う。
- 生ごみや落ち葉、茶殻などの日常生活から出たごみから堆肥を作り、匂のものを育てながら堆肥の作りやすさなどの効果を比較する。
- ビーチコーミング(海辺の漂着物を収集・観察すること)を行い、拾った漂流物でのクラフトを行う。
- 農業大学校と連携し、花や匂の食材を育てる。
- 東金市の福祉教育施設と連携し子どもたちが自然にふれあい親しむように自然体験プログラムを学生が中心となり運営し環境を整備する。
- 学部や所属形態の異なる学生たちが参加可能な科目であり、またフィールドにおける企画実施が中心となるため、時間割をフレキシブルに設定して授業を行う。全体オリエンテーションののち 5月実施予定）、事前学習・フィールド学習（事業実施7月9月11月中旬予定）
- 事後学習を経て、プレゼンテーション（成果報告会）を実施し、自らの活動を報告書にまとめ発表する。
- 全ての域学共創プロジェクト合同で中間発表会（大学祭）と成果発表会（協力された住民、団体なども参加。日程は別途定めます）を実施する。
- 本授業は「土曜・日曜」に実施 することがある。

※ コロナの感染状況や参加人数を鑑み活動内容を決定する。